

計画事業番号	00834	事務事業名	コミュニティFM広報事業	担当部署	企画財政部政策広報課	電話	3411
--------	-------	-------	--------------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	北広島市広報事務規程			
事務事業開始年度	平成14年度		個別計画等	-			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 5 章) 快適な生活環境のまち	
	(第 9 節) 情報公開・広報広聴の充実	
	(施策 4) 広報広聴活動の充実	
2 対象	市民及び周辺市町	
3 目的と内容	コミュニティFM「FMメイプル」を通じて、市の施策や行事などの市政情報を、音声で分かりやすくタイムリーに市民へ伝える。 なお、防災・庁舎建設課で実施している災害時における非常放送や高齢者支援課で実施している認知症高齢者SOSネットワーク事業とも連携している。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	「市役所情報BOX」では、市の行事などの情報を発信する(毎週火～土曜、5分間×2回放送)。 「きたひろ再発見」では、市の魅力を市民に再発見してもらうため、市内の名所・イベント・人物・歴史などを市民がスタジオで直接PRしたり、市の施策や行事などの市政情報を発信する(毎週木曜、10分間放送)。
	29年度	昨年度と同様

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
・市役所情報BOX ・きたひろ再発見 ・協定に基づき、災害時の緊急情報や高齢者の行方不明情報を放送	・市役所情報BOX522回 ・きたひろ再発見52回	・市役所情報BOX ・きたひろ再発見 ・協定に基づき、災害時の緊急情報や高齢者の行方不明情報を放送	・市役所情報BOX ・きたひろ再発見 ・協定に基づき、災害時の緊急情報や高齢者の行方不明情報を放送	・市役所情報BOX ・きたひろ再発見 ・協定に基づき、災害時の緊急情報や高齢者の行方不明情報を放送

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。	
1次評価	現状継続	今後も市民への情報伝達手段の1つの方法として継続していく。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

「拡大」
「現状継続」
「要検討」
「見直し」
「統合」
「休止・廃止」
「終了」

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			1,886		1,886		1,886		1,886	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	1,886		1,886		1,886		1,886	
	① 合計	1,886		1,886		1,886		1,886		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	840	0	840	0	840	0	840	0	
総事業費①+④			2,726		2,726		2,726		2,726	

【評価指標】

指標名		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①「市役所情報BOX」放送回数	目標値 実績値	510 522	510	510	510
	②「きたひろ再発見」放送回数	目標値 実績値	52 52	52	52	52
	③	目標値 実績値				
	④	目標値 実績値				
成果指標	① 市民一人当たりの負担額 【(総事業費-特財等)/市内総人口】	目標値 実績値 円/人	50 46.2	50	50	50
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値 実績値				
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値 実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	市民への市政情報の情報伝達手段の一つとして活用しており、税金を使って必要な情報を周知することは妥当であると考えます。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	市の情報発信を定期的に行っており、成果は上がっていると考えます。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	現在、聴取可能な区域が市全域をカバーしていないことから、インターネット放送の導入により、スマートフォンやパソコンで聴取できるようになり、成果が向上する可能性はある。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	近隣のミニFM放送局と比較しても低価格であり、予算削減は難しいと考えます。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--